

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年5月11日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから5月11日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

まず、1番の原子力規制委員会です。

(1) 第7回原子力規制委員会。議題は6つございます。

議題1、原子炉安全専門審査会及び核燃料安全専門審査会の審査委員の任命について（案）。こちらはいわゆる炉安審と燃安審の審査委員に関しまして、まず6月末で任期が切れる委員の再任と、新しく委員になる方の新任の方の任命を決定するものです。

議題2、民間規格の技術評価の実施に係る計画について。いわゆる3学協会、具体的には日本原子力学会、日本機械学会、日本電気協会、これらの定めている規格に関しまして、いわゆる規則の解釈などへの引用が可能か、令和3年度中に規制委員会が技術評価を行う規格の案について、規制庁で検討した結果を委員会に諮るものです。

議題3、審査ガイドの位置付けについて（第2回）。こちらは3月17日の原子力規制委員会におきまして、審査ガイドの位置付けについて議論がなされました。その際、委員会から審査ガイドを使用する審査官の意見を聴くよう指示がございました。今回はその結果を報告するとともに、改めて審査ガイドの位置付けについて、委員会で議論を行うものです。

議題4、第45回技術情報検討会の結果概要について。こちらは4月14日に開催されました技術情報検討会の結果を委員会に報告するものです。

議題5、技術基盤グループにおける放射線防護研究の実施について。こちらは3月24日の原子力規制委員会におきまして、令和4年度以降の放射線防護に関する研究を技術基盤グループにおいて行うことについて了承が得られました。今回は、その令和4年度以降の具体的な研究の方向性や研究の実施方針について委員会に諮るものです。

最後、議題6、「東京電力福島第一原子力発電所事故の調査・分析に係る中間取りまとめ」に対する発電用原子炉設置者の見解等について（発電用原子炉設置者からの回答内容）。こちらは3月31日の原子力規制委員会におきまして、いわゆる事故分析の中間取りまとめの内容については発電用原子炉設置者から見解を聴取することとされました。

これを受けて、その聴取した結果を委員会に報告するものです。

規制委員会の関係は以上となります。

続きまして、2番の審査会合の関係です。

2ページ目を御覧ください。真ん中にございますが、5月17日月曜日、(5)第404回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合。議題は4つございます。

議題の1つ目は、京都大学臨界実験装置(KUCA)の設置変更承認に関しまして、設置許可基準との適合性と運転時の異常な過渡変化に関する説明を受けるものです。

議題2は、日本原子力研究開発機構(JAEA)の原子力科学研究所にございます放射性廃棄物処理場の設計工事計画認可に関しまして、いわゆる8分割の申請のうち、5月7日に申請のありました6回目の認可申請の概要説明を受けるとともに、既にございます4回目の認可申請の内容の変更について検討状況の説明を受けるものです。

議題3は、同じJAEA大洗研究所の廃棄物管理施設の設計工事計画認可に関しまして、6分割の申請のうち、まだ残っています4つの認可申請の優先順位について説明を受けるものです。

最後です。議題4は、日本原燃再処理施設と廃棄物管理施設の事業変更許可に関しまして、まず再処理施設につきましては、有毒ガス防護対策に関する4月28日の許可申請の説明を受けます。また、廃棄物管理施設につきましては、いわゆる低レベル放射性廃棄物の共有に関する同じ4月28日の許可申請について説明を受けるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

では、エンドウさん、お願いします。

○記者 新潟日報のエンドウと申します。よろしくお願いします。

広報日程とは関係ないのですが、柏崎刈羽原発のIDの不適切使用が今報道されていますが、2015年に父親のカードと間違っって防護区域のゲート前まで入り込んでいたという事案ですが、現状、規制庁として把握されていることがありましたら教えてください。

○児嶋総務課長 担当のほうで記録が残っていないということですので、現時点で把握していることはございません。

○記者 それは記録がもう廃棄されたということなのか。

○児嶋総務課長 そもそも何かを記録に残したかどうかも含めて、記録が残っていないので分からないという状態です。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会　ほかに御質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。
それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。
ありがとうございました。

—了—